

令和3年度 教育普及アートバス事業実施アンケート（教員）

茨城県近代美術館

対象：18市町村、小学校23校、抽出教員23名

1 文化芸術の鑑賞や活動の啓発

ウあまり有効ではなかった
0%

イおおよそ有効だった
17%

ア大変有効だった
83%

2 ハロー！ミュージアム （身に付いた力や変容）

ウ内容が難しかった
0%

イ美術館のことやマ
ナーがわかった
42%

ア作品の見方や楽しみ
方がわかった
58%

1 【文化芸術の鑑賞や活動の啓発】

- ・館の様々なアプローチが「鑑賞は面白い」の声につながった。
- ・事後の図工の授業では、作品に自分の思いを込める姿があり、本事業の影響を感じた。
- ・対話を通して思考を表現する活動は、複数教科に活用でき大変有効である。
- ・この事業で学んだこと、鑑賞方法等、他の教職員へも伝達していきたい。

2 【ハロー！ミュージアム】～身に付いた力や変容～

- ・視覚的に楽しく、ルールの意識や興味の高まりが見られた。
- ・館内のマナーを理解し、それに伴う行動をとることができた。
- ・筆の動かし方、色の使い方など、図工の作品作りに生かしていた。
- ・鑑賞のポイントを学習した後、本物を鑑賞できる学習効果は大きい。

3 対話型アートツアー （身に付いた力や変容）

ウ内容が難しかった
0%

イ他者の多様な考え
方がわかった
32%

ア作品の見方や楽しみ
方がわかった
68%

4 企画展鑑賞（事前と比較して）

ウ変化はなかった
0%

イ自分なりの見方や感
じ方を深めた
34%

ア今までより興味をもっ
て鑑賞した
66%

3 【対話型アートツアー】～身に付いた力や変容～

- ・サイコロ、おみくじ、興味・関心が高まった。この技法は様々な授業で使える。
- ・個人の感性で作品を楽しむことが認められ、充足感を味わった。
- ・支援が必要な児童が、積極的に発言している姿に驚いた。
- ・相手の意見を尊重したり、お互いの気づきを称賛したりすることができた。

4 【企画展鑑賞】～事前と比較して～

- ・「～なところが私は好き」という具体的な感想をもてた。
- ・自由な見方で作品の細部まで興味をもって鑑賞することができた。
- ・学校の作品鑑賞でも、多くの視点から意見が出るようになった。
- ・一つの作品に近づいたり、離れたりにじっくりと熱心に鑑賞できた。

5 【その他】（事業に関すること・美術館に対する意見、要望など）

- ・美術館に行く機会がない子供達が、この事業を通して少しでも作品に興味をもつことができよかった。
- ・今回のような事業は、特別支援教育の一環としてもとても有効な手段になるのではないと思う。
- ・有意義な活動に参加でき、とても幸せ。児童の新たな一面を発見することができた。多くの小中学校にこのような体験が広がるといい。
- ・美術館へ行ったことのない子供達にとって貴重な体験となった。企業パートナー事業へ感謝申し上げます。
- ・美術専門教員として、学生に安価もしくは無料で質の高い芸術作品を提供していただくことを望みたい。